

ペーチェット病の症例対照研究に関する研究

研究協力者 稲葉 裕 順天堂大学医学部衛生学教授

研究要旨 近年ペーチェット病発症に関するウイルスや細菌感染の関与やストレス・寒冷曝露といった環境要因の症状増悪への影響が報告されており、発症や予後に関する臨床像にも変化が認められるという報告が見られる。これらの仮説を証明するために疫学調査が必要と考えられ、症例対照研究をデザインし実施することとした。

A. 研究目的

ペーチェット病の発症に関わる因子に関して近年細菌感染やウイルス感染などを疑う報告が増えている。またストレスや寒冷曝露などの環境因子が増悪に関与するという報告も見られる。発症や予後に関する臨床像の近年の変化を踏まえ、これらの仮説を疫学的に証明するために症例対照研究が必要と考えられた。

B. 研究方法

症例は3年以内の新発症患者100名程度とする。依頼施設は福島医大、岡山大、東大、横浜市大、慶大、北大、順天堂大とする。

対照は他疾患で受診した病院患者との1:1コントロールおよび健常者と1:1のコントロールとする。病院コントロールは依頼施設より抽出し、健常者のコントロールについては健診機関などに協力を問い合わせる。

測定する因子は外的要因として、①微生物 S. Sanguis, HSV, HZV, CMV, EBVなどを皮膚プリックテストおよび血清抗体価にて測定し、②環境因子としてストレス、生活習慣（口腔内の清潔さ等）等を質問紙

を用いて調べる。

次に内的要因として、HLA タイピングを考えている。

測定方法および資料は以下のとおり。

①生体資料（血清・血液・唾液）

微生物、ストレス、HLA

血清の保存は福島医大で可能。一部外注業者に検査を依頼する。

症例の場合 HLA などはずでに測定されていることが多い。

②臨床データ

③質問紙（アンケート）

生活習慣、ストレス、その他

S.Sanguis の皮膚プリックテストは健常者コントロールへの実施が困難であることから、症例および病院コントロールに対して行う。

倫理的考慮：

疫学研究と倫理のガイドラインに従い、症例や対照者のデータを提供する各依頼施設の倫理委員会を通す。

ベーチェット病患者の口腔関連 QOL 測定に関する研究

研究協力者 福原俊一（京都大学大学院医学研究科健康解析学）
内藤真理子（京都大学大学院医学研究科医療システム情報学）
鈴嶋よしみ（京都大学大学院医学研究科健康解析学）

KEYWORD = ベーチェット病、口腔関連 QOL、尺度開発、GOHAI

【要旨】

ベーチェット病患者の口腔関連 QOL 測定研究実施に先立ち、口腔関連 QOL 尺度開発をおこなった。現在、General Oral Health Assessment Index(GOHAI)の日本語版作成を含め、研究実施のための準備を進行中である。

【目的】

口腔内アフタ性潰瘍はベーチェット病の主症状のひとつであり、90～100%と最も高い発生頻度を示すとともに初発症状であることも多い。他の症状は治療により発生頻度が減少し、出現しなくなる場合もあるが、口腔内アフタ性潰瘍は頻度が減っても出現が続く傾向が認められる。

ベーチェット病患者の QOL については、外来通院患者を対象として、平成 12 年度に包括的健康関連 QOL の指標である SF-36 を用いた測定がなされている。その結果より、患者 QOL は全ての側面において国民標準より低く、症状の活動性が QOL に直接関わる要因であることが報告されている。

本疾患はほとんどの場合致命的ではないが、現時点では根治が望めず、患者の日常生活が長期に渡って阻害されることが問題となっている。多彩な症状が憎悪、緩解を繰り返す中、摂食等の機能障害につながる再発性の口腔粘膜症状が日常生活の質に与える影響も決して無視できないものと考えられる。

このような背景をふまえて、口腔に関連した QOL を測定および評価することは患者 QOL 全体を考えていく上で意義あることと思われるが、ベーチェット病は勿論のこと、口腔症状を合わせ持つ全身疾患患者に関する研究報告はいまだ認められない。また、本邦では口腔分野の QOL 研究は緒についたばかりであり、尺度開発もまだ十分に進んでいないというのが実状である。

そこで今回ベーチェット病患者の口腔関連 QOL 研究を計画し、今年度はその第一段階として測定で必要となる尺度の開発をおこなった。

【方法】

最初に、テーマに沿った概念モデルの作成を行い、使用する既存尺度の選定をおこなっ

た。今回は海外で作成された尺度を選択したことから、原作者へコンタクトを取り、日本語版作成の許可を得た。

次に、二名の翻訳者がそれぞれ別々に尺度を順翻訳した。それぞれに翻訳された二つの候補を持ち寄り、二名の翻訳者、公衆衛生学および計量心理学の研究者で構成したフォーカス・グループを通して、訳の相違点について討議した。そして、どの訳がよりよいかについて議論しながら一つにまとめ、よりふさわしい表現についても検討し、暫定版尺度を作成した。

この時点で歯科医療従事者を含めたワーキング・グループを作り、地域住民を対象にパイロット・スタディを実施した。その結果を基に、グループの意見を聞きながら質問項目の再検討をおこなった。再検討後、完成版尺度としてまとめたものを順翻訳者とは別の翻訳者がオリジナル言語に逆翻訳し、原作者への確認作業をおこなった。

【結果および考察】

1. 概念モデルの作成・尺度の選定

一般に Oral Health Related Quality of Life を構成する概念としては、Functioning (機能)、Psychologic aspects (心理面)、Pain/discomfort (疼痛/不快)、Social aspects (社会面) が挙げられる。これら全ての概念を包括した尺度で現在使用されているものとして、General Oral Health Assessment Index (GOHAI)、Oral Health Impact Profile (OHIP)、Dental Impact on Daily Living (DIDL)、Oral Impacts on Daily Performances (OIDP)等がある。

日本で開発された口腔関連 QOL 尺度のうち、妥当性の検証がなされ、かつ今回の研究目的に合致したものは認められなかったことから、海外で開発された尺度の日本語版を作成し、研究に使用することとした。そして、回答者の負担が少ないことから臨床的に実用性が高く、また心理社会面をよりよく反映するとされる GOHAI を使用尺度として選択した。

2. GOHAI 日本語版作成

平成 14 年 11 月に GOHAI の原作者である Dr Kathryn Atchison にコンタクトをとり、日本語版作成の許可を得た。11 月から 12 月にかけて順翻訳をすすめ、12 月中旬にフォーカス・グループによる討議をおこない、暫定版尺度を作成した。

この暫定版尺度を用いて、関西地区に在住する地域住民 96 名 (男性 47 名、女性 49 名) を対象に、平成 14 年 12 月下旬から平成 15 年 1 月中旬にかけてパイロット・スタディを実施した。対象者の平均年齢は 71 ± 8 歳であった。自記によって回答を得た後にインタビューをおこない、回答にとまどう部分、答えにくい部分、わかりにくい部分について意見を聞いた。

パイロット・スタディの結果から、質問文の長さや表現の難解さ、逆転項目の存在が問題点として示され、一部の項目の選択肢の不一致も指摘された。これらの点について、可及的にオリジナルに忠実であるように配慮しながら、修正を加えた。また、本尺度が身体

機能の衰えた成人でも使用しやすいかどうかについて、字体やレイアウトの検討をおこなった。これらの検討後、逆翻訳作業を経て GOHAI 日本語版を完成させた。

3. 今後の予定

以上の過程を経て完成した GOHAI 日本語版を用いて、平成 15 年 5 月に約 900 名の 30 歳以上の成人（歯科医）を対象に調査を実施する予定である。その結果から、項目分析、信頼性の検討および妥当性の検討をおこなうことを計画している。

さらに、ベーチェット病患者における QOL 研究の第二段階として、現在研究プロトコール等の作成を進めているところであり、平成 15 年度中に研究準備を完了する予定である。

【参考文献】

1. 星恵子, 坂根剛, 吉田勝美, 箕輪眞澄 ベーチェット病の QOL-評価表の作成と患者の満足度ならびに QOL 向上のための支援策. 厚生省特定疾患難病の疫学調査研究班 平成 7 年度研究業績集 p344-50, 1995.
2. 黒沢美智子, 稲葉裕, 大野重昭, 藤野雄次郎, 他 ベーチェット病の予後調査結果-不明例への対応-厚生労働省特定疾患対策研究事業 ベーチェット病に関する研究班 平成 12 年度報告書
3. Ando K, Fujino Y, Hijikata K, Izawa Y, Masuda K. Epidemiological features and visual prognosis of Behcet's disease. *Jpn J Ophthalmol* 1999;43:312-7.
4. 福原俊一, 小竹聡, 合田千穂 SF-36 を用いたベーチェット病患者の健康関連 QOL の測定と検討. 厚生省特定疾患臨床調査グループ 免疫疾患調査研究班 ベーチェット病分科会 平成 10 年度研究報告書
5. 西森美奈, 福原俊一 ベーチェット病患者の QOL に関する研究. 厚生労働省特定疾患対策研究事業 ベーチェット病に関する研究班 平成 12 年度報告書
6. Atchison KA, Dolan TA. Development of the Geriatric Oral health Assessment Index. *J Dent Edu* 1990;54:680-7.
7. Kressin NR. Association among different assessment of oral health outcomes. *J Dent Educ* 1996;60:501-7.
8. Slade GD, Spencer AJ. Development and evaluation of the oral health impact profile. *Community Dent Health* 1994;1:3-11.
9. Leao AT, Sheiham A. The development of a sociodentia measure of dental impacts on daily living. *Community Dent Health* 1996;13:22-6.
10. Adulaynin S, Vourapukjaru J, Sheiham A. Oral impacts affecting daily performance in a low dental disease Thai population. *Community Dent Oral Epidemiol* 1996;24:385-9.

* **General Oral Health Assessment Index(GOHAI)**

1980年代後半に Dr Kathryn Atchison (UCLA)らによって開発された口腔関連 QOL 尺度である。3つの下位概念 (Functioning, Psychosocial aspects, Pain/discomfort) からなる 12 の質問項目で構成されている。各項目 5 点式の Likert Scale を使用しており、12 項目のスコアの合計が個人の QOL スコアとなる。質問数が少なく、回答時間は 5 分程度と臨床的に実用性が高い。

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト

書籍

| 著者氏名 | 論文タイトル名 | 書籍全体の編集者名 | 書籍名 | 出版社名 | 出版地 | 出版年 | ページ |
|--|--|---|--|--------------------------------------|----------------------------|-------|--------------|
| Kaneko F, Tojo M, Sato M, Isogai E | The role of infectious antigens in the pathogenesis of Behcet's disease | Zouboulis | Proc. of the 10 th International Conference on Behcet's disease | Kluwer plenum | Berlin, Germany | | in press |
| Kaneko F, Nakamura K, Sato M, Tojo M, Zheng X, Zheng J-Z | Epidemiology of Behcet's disease | Zouboulis | Proc. of the 10 th International Conference on Behcet's disease | Kluwer plenum | Berlin, Germany | | in press |
| Tojo M, Zheng X, Yanagihori H, Oyama N, Isogai E, Nakamura K, Kaneko F | Detection of microbial DNA in skin lesions from patients with Behcet's disease | Zouboulis | Proc. of the 10 th International Conference on Behcet's disease | Kluwer plenum | Berlin, Germany | | in press |
| 金子史男 | Sweet病 | 玉置邦彦 | 最新皮膚科学大系最新皮膚科学大系 | 中山書店 | 東京 | 33-39 | 2003 |
| 金子史男 | Behcet病 | 玉置邦彦 | 最新皮膚科学大系最新皮膚科学大系 | 中山書店 | 東京 | 40-51 | 2003 |
| Onoé K, Kitaichi N, Ohno S, Iwabuchi C, and Iwabuchi K | [NK and NK-T cells possibly involved in behcet's disease] | Swets & Zeitlinger | Immunology of Behcet's Disease | Lisse | The Netherlands | | in press |
| 磯貝恵美子 | 犬のライム病 | | 動物の感染症 | 近代出版 | | 2002 | 326-327 |
| 磯貝恵美子 | レプトスピラ | | 細菌学 | 朝倉書店 | | 2002 | 614-619 |
| 桑名正隆 | 特発性血小板減少性紫斑病 | 出口康夫、石井裕正、跡見裕、神保勝一、橋本信也 | 実践 診断指針 | 南江堂 | 東京 | 2002 | S154-S155 |
| 桑名正隆 | アレルギー性(血管性)紫斑病(henoch-Schönlein紫斑病) | 出口康夫、石井裕正、跡見裕、神保勝一、橋本信也 | 実践 診断指針 | 南江堂 | 東京 | 2002 | S158-S159 |
| 桑名正隆、池田康夫 | ITP: 診断の進歩 | 高久史麿、溝口秀昭、小宮山淳、坂田洋一、金倉譲 | Annual Review血液2003 | 中外医学社 | 東京 | 2003 | 183-189 |
| Kobayashi K and Yasoshima Y | Noradrenergic control of long-term memory consolidation. | Nagatsu T, Nabeshima T, McCarty R, Goldstein D.S. | In Catecholamine Research: From Molecular Insights to Clinical Medicine | Kluwer Academic/Plenum Publishers | New York | 2002 | pp. 353-356. |
| Suzuki N | The pathogenic role of prolactin in patients with rheumatoid arthritis. | R Rapaport and Matera | Neuroimmune Biology, vol.3 Growth and lactogenic hormones | Elsevier | Amsterdam, The Netherlands | 2002 | 279-304 |
| Sakane T, Suzuki N | Behcet's syndrome | A N Theofilopoulos and C A Bona | The Molecular Pathology of Autoimmunity Second Edition | Gordon and Breach Science Publishers | Pennsylvania, USA | 2002 | 828-840 |
| Suzuki N, Takeno M, Takeba Y, Nagafuchi H, Sakane T | Autoimmunity in Behcet's disease | M Zierhut, S Ohno | Immunology of Behcet's disease | Swets & Zeitlinger, Lisse | The Netherlands | | in press |

| | | | | | | | |
|--|---|------------------------|---|---------------------------|-----------------|------|----------|
| Takeo M, Simoyama Y, Nagafuchi H, Suzuki N, Sakane T | Neophil hyperfunction on Behcet's disease | M Zierhut, S Ohno | Immunology of Behcet's disease | Swets & Zeitlinger, Lisse | The Netherlands | | in press |
| Sakane T, Suzuki N | Neuro-endocrine-immune axis in human rheumatoid arthritis | | Autoimmunity Kluwer | Academic Publishers | Wroclaw, Poland | | in press |
| 鈴木登 | 免疫不全の分子機構 | 井村裕夫 | わかりやすい内科学第2版 | 文光堂 | 東京 | 2002 | 310-313 |
| 宮城 司、本間龍介、鈴木登 | 呼吸器系の生物学、胚性幹細胞 (ES 細胞) と実験医学 | 工藤 翔二 | Annual Review 呼吸器 | 中外医学社 | 東京 | 2003 | 1-9 |
| 鈴木登、宮城司 | 膠原病類縁疾患に伴う関節炎(Behcet 病など) | | 骨・関節疾患 | 朝倉書店 | 東京 | | 印刷中 |
| 鈴木登 | 全身性エリテマトーデス 病因 | | インフォームドコンセントのための図説シリーズ 膠原病 | 医薬ジャーナル社 | 東京 | | 印刷中 |
| 川島秀俊 | 眼内炎症における免疫反応のメカニズム 眼組織移植と免疫 | | NEW MOOK 眼科 3 | | | | 7-13 |
| 水木信久 | ベーチェット病の病因と治療 | | OTKとも | | | 2003 | 18-24 |
| Mizuki N, Inoko H, Ohno S | Recent advance in the pathogenesis of Behcet's disease | Bang D | Proceedings of the 9th International Conference on Behcet's Disease | | | | in press |
| 水木信久 | プロテアソーム(大型多機能性プロテアーゼ) | | 免疫学辞典(第2版) | 東京化学同人 | | | 印刷中 |
| 岩月啓氏 | 12. 悪性リンパ腫, 成人T細胞白血病・リンパ腫 | 宮地良樹, 古川福実 | 皮膚疾患診療実践ガイド | 文光堂 | 東京 | 2002 | 611-618 |
| 岩月啓氏 | 光線過敏症 | 多賀須幸男, 尾形悦郎 | 今日の治療指針 | 医学書院 | 東京 | 2002 | 743-745 |
| 岩月啓氏 | 薬疹 | 泉 孝英 | ガイドライン外来診療2002 | 日系メディカル開発 | 東京 | 2002 | 291-298 |
| 岩月啓氏 | hydroa vacciniforme | 小野友道, 宮地良樹, 瀧川雅浩 | Dermatology Practice 13 発疹から病気がみえる | 文光堂 | 東京 | 2002 | 246-247 |
| 山崎 修, 岩月啓氏 | 膿疱をみたら | 小野友道, 宮地良樹, 瀧川雅浩 | Dermatology Practice 13 発疹から病気がみえる | 文光堂 | 東京 | 2002 | 158-163 |
| 岩月啓氏 | 膿疱性血管炎 | 斎田俊明, 塩原哲夫, 宮地良樹, 渡辺晋一 | 今日の皮膚疾患治療指針 | 医学書院 | 東京 | 2002 | 314-315 |
| 岩月啓氏 | 種痘様水疱症 | 斎田俊明, 塩原哲夫, 宮地良樹, 渡辺晋一 | 今日の皮膚疾患治療指針 | 医学書院 | 東京 | 2002 | 416 |
| 岩月啓氏 | CD30陽性未分化大細胞リンパ腫 | 斎田俊明, 塩原哲夫, 宮地良樹, 渡辺晋一 | 今日の皮膚疾患治療指針 | 医学書院 | 東京 | 2002 | 527-528 |

| | | | | | | | |
|------------|------------------------------------|------------------------|-------------------------|----------|----|------|---------|
| 岩月啓氏 | Angioimmunoblastic T cell lymphoma | 斎田俊明, 塩原哲夫, 宮地良樹, 渡辺晋一 | 今日の皮膚疾患治療指針 | 医学書院 | 東京 | 2002 | 528-529 |
| 岩月啓氏 | IV. Natural Killer (NK) 細胞リンパ腫 | 日本皮膚悪性腫瘍学会 | 皮膚悪性腫瘍取り扱い規約 | 金原出版 | 東京 | 2002 | 128-132 |
| 岩月啓氏 | リンパ腫の化学療法 | 植木宏明, 富田靖, 玉置邦彦, 飯塚一 | 皮膚科専門医テキスト | 南江堂 | 東京 | 2002 | 157-159 |
| 岩月啓氏 | ナチュラルキラー細胞リンパ腫 | 玉置邦彦 | 最新皮膚科学大系第13巻神経系腫瘍 間葉系腫瘍 | 中山書店 | 東京 | 2002 | 320-328 |
| 岩月啓氏 | 血球貪食性リンパ組織球症 | 玉置邦彦 | 最新皮膚科学大系第13巻神経系腫瘍 間葉系腫瘍 | 中山書店 | 東京 | 2002 | 329-333 |
| 岩月啓氏 | 皮膚筋炎-特徴的な皮疹 | 竹原和彦, 桑名正隆, 宮地良樹 | 新・膠原病 | 診断と治療社 | 東京 | 2002 | 86-91 |
| 岩月啓氏 | 亜急性皮膚エリテマトーデス | 竹原和彦, 桑名正隆, 宮地良樹 | 新・膠原病 | 診断と治療社 | 東京 | 2002 | 142-145 |
| 岩月啓氏 | 皮膚筋炎-重症度, 予後を示すファクター | 竹原和彦, 桑名正隆, 宮地良樹 | 新・膠原病 | 診断と治療社 | 東京 | 2002 | 242-245 |
| 岩月啓氏 | 謎のEBウイルス感染症 | 清水 宏 | 皮膚疾患のとなえかた | 文光堂 | 東京 | 2002 | 268-280 |
| 大野貴司, 岩月啓氏 | 皮膚T細胞リンパ腫 | 押味和夫 | みんなに役立つ悪性リンパ腫の基礎と臨床 | 医薬ジャーナル社 | 東京 | 2002 | 337-345 |

雑誌

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|---|---|-------------------|--------|-----------|------|
| Tojo M, Kiyosawa H, Iwatsuki K, Kaneko F | Expression of a sonic hedgehog signal transducer, hip (hedgehog-interacting protein) by human basal cell carcinoma | Br J Dermatol | 146(1) | 69-73 | 2002 |
| Akiba H, Kehren J, Ducluzeau M-T, Krasteva M, Horand F, Kaiserlian D, Kaneko F, Nicolas J-F | Skin inflammation during contact hypersensitivity is mediated by early recruitment of CD8+T cytotoxic 1 cells inducing keratinocyte apoptosis | J Immunol | 168 | 3079-3087 | 2002 |
| Oyama N, Takahashi H, Tojo M, Iwatsuki K, Iizuka H, Nakamura K, Homma Y, Kaneko F | Different properties of three isoforms (α , β , and γ) of transcription factor AP-2 in the expression of human keratinocyte genes | Arch Dermatol Res | 294 | 273-280 | 2002 |
| Tojo M, Iwatsuki K, Furukawa H, Takahashi M, Kaneko F | Neutrophilic eccrine hidradenitis in actinic reticuloid syndrome | Eur J Dermatol | 12 | 198-200 | 2002 |
| Nishibu A, Oyama N, Nakamura K, Kaneko F | Lack of association of TNF-238A and -308A in Japanese patients with psoriasis vulgaris, psoriatic arthritis and generalized pustular psoriasis | J Dermatol Sci | 29(3) | 181-184 | 2002 |
| Satoh M, Oyama N, Akiba H, Mikio M, Iwatsuki K, Kaneko F | Hypersensitivity to mosquito bites with natural-killer cell lymphocytosis : the possible implication of Epstein-Barr virus infection | Eur J Dermatol | 12 | 381-384 | 2002 |

| | | | | | |
|---|---|---|---------|-----------|----------|
| Zheng X, Nakamura K, Tojo M, Oyama N, Nishibu A, Satoh M, Kakinuma T, Wakugawa M, Tamaki K, Kaneko F | TGF- β 1-mediated regulation of thymus and activation-regulation chemokine (TARC/CCL17) synthesis and secretion by HaCaT cells co-stimulated with TNF- α and TFN- γ | J Dermatol Sci | 30 | 154-160 | 2002 |
| Isogai E, Isogai H, Kotake S, Ohno S, Ishihara M, Aoki K, Tojo M, Kaneko F, Yokota K, Oguma K | Antibody cross reactivity from sera of patients with Behcet's disease with synthetic peptide that have homologies with proteins from Streptococcus sanguis | J Applied Research | 2(3) | 1-7 | 2002 |
| Lee KH, Kim HS, Kaneko F, Bang D | Cytokine production of peripheral blood mononuclear cells stimulated with Streptococcus sanguis antigen in patients with Behcet's disease | Korean Journal of Investigative Dermatology | 9(4) | 183-190 | 2002 |
| Zheng X, Nakamura K, Furukawa H, Nishibu A, Takahashi M, Tojo M, Kaneko E, Kakinuma T, Tamaki K | Demonstration of TARC and CCR4 mRNA expression and distribution using in situ RT-PCR in the lesional skin of atopic dermatitis | J Dermatol | 30(1) | 26-32 | 2003 |
| Kakinuma T, Sugaya M, Nakamura K, Kaneko F, Wakunaga M, Matsushima K, Tamaki K | Thymus and activation-regulated chemokine(TARC/CCL17) in mycosis fungoides : serum TARC levels reflect the disease activity of mycosis fungoides | J Am Acad Dermatol | 48(1) | 23-30 | 2003 |
| Tojo M, Zheng X, Yanagihori H, Oyama N, Takahashi K, Nakamura K, Kaneko F | Detection of herpes virus genomes in skin lesions from patients with Behcet's disease and other related inflammatory diseases | Acta Derm Venereol | | | in press |
| 金子史男 | 最近のベーチェット病 | 日皮会誌 | 112(14) | 1799-1806 | 2002 |
| Harada T, Harada C, Kohsaka S, Wada E, Yoshida K, Ohno S, Mamada H, Tanaka K, Parada L.F., Wada K | Microglia-Mu'ller glia cell interactions control neurotrophic factor production during light-induced retinal degeneration | Journal of Neuroscience | 22(21) | 9228-9236 | 2002 |
| Harada T, Harada C, Mitamura Y, Akazawa C, Ohtsuka K, Ohno S, Takeuchi S, Wada K | Neurotrophic Factor Receptors in Epiretinal Membranes After Human Diabetic Retinopathy | DIABETES CARE | 25(6) | 1060-1065 | 2002 |
| Okamoto T, Yamagishi S, Inagaki Y, Amano S, Takeuchi M, Kikuchi S, Ohno S, Yoshimura A | Incadronate disodium inhibits advanced glycation end products-induced angiogenesis in vitro | BBRC | 297 | 419-424 | 2002 |
| Yazama F, Kadosono K, Itoh N, Ohno S | Role of matrix metalloproteinase-7 in angiogenesis associated with age-related macular degeneration | Journal of Electron Microscopy | 51(2) | 127-131 | 2002 |
| Yoshida K, Behrens A, Le-Niculescu H, Wagner e F, Harada T, Imaki J, Ohno S, Karin M | Amino-terminal phosphorylation of c-Jun regulates apoptosis in the retinal ganglion cells by optic nerve transaction | Invest Ophthalmol Vis Sci | 43 | 1631-1635 | 2002 |
| Yoshida K, Nakayama K, Nagahama H, Harada T, Harada C, Imaki J, Mtsuda A, Yamamoto K, Ito M, Ohno S, Nakayama K I | Involvement of p27(KIP1) degradation by Skp2 in the regulation of proliferation in response to wounding of corneal epithelium | Invest Ophthalmol Vis Sci | 43 | 364-370 | 2002 |
| Namba K, Kitaichi N, Nishida T, Taylor AW | Induction of regulatory T cells by the immunomodulating cytokines alpha-melanocyte-stimulating hormone and transforming growth factor-beta2 | J Leukoc Biol | 72 | 946-952 | 2002 |

| | | | | | |
|--|--|---------------------------|--------|-----------|----------|
| Mizuki N, Yabuki K, Ota M, Katsuyama Y, Ando H, Nomura E, Funakoshi K, Davatchi F, Chams H, Nikbin B, Ghaderi A A, Ohno S, Inoko H | Analysis of microsatellite polymorphism around the HLA-B locus in Iranian patients with Behcet's disease | Tissue Antigens | 60 | 396-399 | 2002 |
| Kitaichi N, Kotake S, Morohashi T, Onoe K, Ohno S, Taylor A W | Diminution of experimental autoimmune uveoretinitis(EAU) in mice depleted of NK cells | J Leukoc Biol | 72 | 1117-1121 | 2002 |
| Ohgami K, Shiratori K, Kotake S, Nishida T, Mizuki N, Yazawa K, Ohno S | The effects of astaxanthin on lipopolysaccharide-induced inflammation in vitro and in vivo | Invest Ophthalmol Vis Sci | | | in press |
| 加藤伸彦, 佐藤直樹, 竹田博明, 横山実菜子, 大沢修子, 大野重昭, 黒田 聡, 和田龍彦, 佐々木努, 米岡宗臣 | 手術後の手袋破損の検討—高精度電気インピーダンス法を用いて— | 医器学 | 72(11) | 615-619 | 2002 |
| 小竹 聡, 大野重昭 | ぶどう膜炎 | 日本医事新報 | 4076 | 15-20 | 2002 |
| 大野重昭 | V 特定疾患別解説 | 難病対策ガイドブック | | 28 | 2002 |
| 齊藤 航, 小竹 聡, 笹本洋一, 高橋光生, 大野重昭 | 多発性硬化症に伴う肉芽腫性ぶどう膜炎の1例 | 日眼会誌 | 106(2) | 99-102 | 2002 |
| 南場研一 | レギュラトリーT細胞によるぶどう膜炎治療の可能性 | 臨床眼科 | 56(6) | 937-942 | 2002 |
| Yanagawa Y, Iijima N, Iwabuchi K and Onoé K | Activation of extracellular signal-related kinase by TNF- α controls the maturation and function of murine dendritic cells | J Leukoc Biol | 71 | 125-132 | 2002 |
| Ato M., Iwabuchi K, Shimada S, Mukaida N, and Onoé K | Augmented expression of TNF- α introduced by lipopolysaccharide (LPS) in spleen of human monocyte chemoattractant protein-1 transgenic mouse enhances sensitivity of the marginal zone macrophages to the LPS | Immunology | 106 | 1-15 | 2002 |
| Kikuchi S, Shinpo K, Niino M, Tsuji S, Iwabuchi K, Onoé K, and Tashiro K | Prostaglandin E (1) protects cultured spinal neurons against the effects of nitric oxide toxicity | Neuropharmacology | 42 | 714-723 | 2002 |
| Kizaki T, Suzuki K, Hitomi Y, Onoé K, Day N. K., Good R. A., Taniguchi N., and Ohno H | Uncoupling protein 2 plays an important role in nitric oxide production of lipopolysaccharide-stimulated macrophages | Proc Natl Acad Sci USA | 99 | 9392-9397 | 2002 |
| Onoé K, Iwabuchi K, Iwabuchi C, Tone S, Konishi J, Kawakami Y, Nishimura M, and Onoé K | Enhanced complement sensitivity of NK-T cells in murine thymus and spleen associated with presence of serum immunoglobulin | Immuno-biology | 206 | 377-391 | 2002 |
| Onodera S, Nishihara K, Iwabuchi K, Tanaka S, and Minami A | Signaling pathways on the up-regulation of matrix metallo-proteinase-13 in rat osteoblasts in response to macrophage migration inhibitory factor | J Biol Chem | 277 | 7865-7874 | 2002 |
| Izutsu Y, Tochinai S, Maeno M, Iwabuchi K, and Onoé K | Larval antigen molecules recognized by adult immune cells of inbred <i>Xenopus laevis</i> ; Partial characterization and implication in metamorphosis | Dev Growth Differ | 44 | 477-488 | 2002 |
| Aranami T, Iwabuchi K, and Onoé K | Syngeneic mixed lymphocyte reaction (SMLR) with dendritic cells: Direct visualization of dividing T cell subsets in SMLR | Cell Immunol | 217 | 67-77 | 2002 |

| | | | | | |
|--|---|------------------------------------|----------|-----------|------------------------|
| Kikuchi K, Yanagawa Y, Aranami T, Iwabuchi C, Iwabuchi K, and Onoé K | TNF- α but not LPS enhances preference of murine dendritic cells for Th2 differentiation | Immunology | 107 | 1-7 | 2003 |
| Kitaichi N, Koake S, Morohashi T, Onoé K, Ohno S, and Taylor A.W. | Diminution of experimental auto-immune uveoretinitis (EAU) in mice depleted of NK cells | J Leukoc Biol | 72 | 1117-1121 | 2002 |
| Yamada H, Morikawa M, Furuta I, Kato-Hirayama E, Shimada S, Iwabuchi K, and Minakami M | Intravenous immunoglobulin treatment in women with recurrent abortions: Increased cytokine levels and reduced Th1/Th2 lymphocyte ratio in peripheral blood | Am J Reprod Immunol | | | in press |
| Onoé K, Gotohda T, Nishihori H, Aranami T, Iwabuchi C, Iclozan C., Morohashi T, Ogasawara K, Good R A., and Iwabuchi K | Positive and negative selection of T cell repertoires during differentiation in allogeneic bone marrow chimeras | Transplant Immunol | | | in press |
| Shimada S, Iwabuchi K, Kato-Hirayama E, Morikawa M, Sakuragi N, Onoé K, Minakami H, and Yamada H | No difference in natural-killer-T cell population, but Th2/Tc2 predominance in peripheral blood of recurrent aborters | Am J Reprod Immunol | | | in press |
| Zierhut M, Mizuki N, Ohno S, Inoko H, Gül A, Onoé K, and Isogai M | Immunology and functional genomics of Behçet's disease | Cell Mol Life Sci | | | in press |
| Shimada S, Iwabuchi K, Watano K, Shimizu H, Yamada H, Minakami H, and Onoé K | Expression of allograft inflammatory factor-1 in mouse uterus and poly (I:C)-induced fetal resorption | Am J Reprod Immunol | | | in press |
| Yanagawa Y, and Onoé K | CCR7 ligands induce rapid endocytosis in mature dendritic cells with concomitant upregulation of Cdc42 and Rac activities | Blood | | | in press |
| Suzuki K, Kokai Y, Sawada N, Takakuwa R, Kuwahara K, Isogai E, Isogai H, Mori M | <i>SSI Helicobacter pylori</i> disrupts the paracellular barrier of the gastric mucosa and leads to neutrophilic gastritis in mice | Virchows Arch | 440 | 318-324 | 2002 |
| Tanaka M, Isogai E, Isogai H, Hayashi S, Hirose K, Kimura K, Sugiyama T, and Sato K | Synergistic effect of quinolone antibacterial agents and proton-pump inhibitors against <i>Helicobacter pylori</i> | J Antimicrob Chemother | 49 | 1039-1040 | 2002 |
| Nishikawa T, Isogai E, Isogai H, Ohba T, Kimura K, Doi Y, Satoh M, Yoshida R, Okayasu T, and Arashima S | Inhibition of Growth and toxin production in enterohemorrhagic <i>Escherichia coli</i> by tea and catechin drinks | Japanese J School Health | 43 | 100-102 | 2002 |
| Isogai E, Isogai H, Kotake S, Ohno S, Ishihara M, Aoki K, Tojo M, Kaneko F, Yokota K, Oguma K | Antibody cross reactivity from sera of patients with Behçet's disease with synthetic peptides that have homologies with protein from <i>Streptococcus sanguis</i> . | J Appl Res | 2 (3) | 1-7 | 2002(Internet Journal) |
| Kobayashi-Sakamoto M, Isogai E, Hirose K | <i>Porphyromonas gingivalis</i> modulates the production of interleukin 8 and monocyte chemotactic protein 1 in human vascular endothelial cells | Current Microbiology | In press | | 2002 |
| Tomoyasu T, Takaya A, Isogai E, Yamamoto T | Turnover of FlhD and FlhC, master regulator proteins for <i>Salmonella</i> flagellum biogenesis, by the ATP-dependent ClpXP protease | Molecular Microbiol | In press | | 2002 |
| Okamoto K, Makino S, Yoshikawa Y, Takaki A, Nagatsuka Y, Ota M, Tamiya G, Kimura A, Bahram S and Inoko H | Identification of IkbL as the second MHC-linked susceptibility locus for Rheumatoid Arthritis | American Journal of Human Genetics | in press | | 2002 |

| | | | | | |
|---|--|----------------------------|-----|-----------|------|
| Abi-Rached L, Gilles A, Shiina T, Pontarotti P and Inoko H | Evidence of en bloc duplication in vertebrate genomes | Nature Genetics | 31 | 100-105 | 2002 |
| Suemizi H, Radosavljevic M, Kimura M, Sadahiro S, Yoshimura S, Bahrama S and Inoko H | A basolateral sorting motif in the MICA cytoplasmic tail | Proc Natl Acad Sci USA | 99 | 2971-2976 | 2002 |
| Mizuki N, Ota M, Katsuyama Y, Yabuki K, Ando H, Shiina T, Palimeris GD, Kaklamani E, Ito D, Ohno S and Inoko H | Sequencing-based typing of HLA-B*51 alleles and the significant association of HLA-B*5101 and -B*5108 with Behcet's disease in Greek patients | Tissue Antigens | 59 | 118-121 | 2002 |
| Horiki T, Ichikawa Y, Moriuchi J, Hoshina Y, Yamada C, Wakabayashi T, Jackson K and Inoko H | HLA class II haplotypes associated with pulmonary interstitial lesions of polymyositis/dermatomyositis in Japanese patients | Tissue Antigens | 59 | 25-30 | 2002 |
| Matsuzaka Y, Okamoto K, Tsuji H, Mabuchi T, Ozawa A, Tamiya G and Inoko H | Identification of the hRDH-E2 gene, a novel member of the SDR family, and its increased expression in psoriatic lesion | Biochem Biophys Res Commun | 297 | 1171-1176 | 2002 |
| Matsuzaka Y, Tounai K, Denda A, Tomizawa M, Makino S, Okamoto K, Keicho N, Oka A, Kulski JK, Tamiya G and Inoko H | Identification of novel candidate genes in the diffuse panbronchiolitis critical region of the class I human MHC | Immunogenetics | 54 | 301-309 | 2002 |
| Matsuzaka Y, Makino S, Okamoto K, Oka A, Tsujimura A, Matsumiya K, Takahara S, Okuyama A, Sada M, Gotoh R, Nakatani T, Ota M, Katsuyama Y, Tamiya G and Inoko H | Susceptibility locus for non-obstructive azoospermia is localized within the HLA-DR/DQ subregion: Primary role of DQB1*0604 | Tissue Antigens | 60 | 53-63 | 2002 |
| Hui J, Oka A, Tamiya G, Tomizawa M, Kulski JK, Penhale WJ, Tay GK, Iizuka M, Ozawa A and Inoko H | Corneodesmosin DNA polymorphisms in MHC haplotypes and Japanese patients with psoriasis | Tissue Antigens | 60 | 77-83 | 2002 |
| Niizeki H, Inoko H, Wayne and Streilein J | Polymorphisms in the TNF region confer susceptibility to UVB-induced impairment of contact hypersensitivity induction in mice and humans | Methods | 28 | 46-50 | 2002 |
| Kulski JK, Dunn DS, Hui J, Martinez P, Romphruk AV, Leelayuwat C, Tay GK, Oka A and Inoko H | Alu polymorphism within the MICB gene and association with HLA-B alleles | Immunogenetics | 53 | 975-979 | 2002 |
| Moribe T, Hirai H, Kimura M, Inagawa A, Nakatani S, Kaneshige T and Inoko H | Rapid and simultaneous HLA class I (-A, -B and -C loci) DNA typing using the microtitre plate-reverse hybridization assay (MRHA) | Eur J Immunogenet | 29 | 191-204 | 2002 |
| Tanaka S, Kobayashi T, Nakanishi K, Okubo M, Odawara M, Murase T, Hashimoto M, Watanabe G, Matsushita H, Inoko H and Takeuchi K | Corticosteroid-responsive diabetes mellitus associated with autoimmune pancreatitis: pathological examinations of the endocrine and exocrine pancreas | Ann N Y Acad Sci | 958 | 152-159 | 2002 |
| Morishima Y, Sasazuki T, Inoko H, Juji T, Akaza T, Yamamoto K, Ishikawa Y, Kato S, Sao H, Sakamaki H, Kawa K, Hamajima N, Asano S and Kodera Y | The clinical significance of human leukocyte antigen (HLA) allele compatibility in patients receiving a marrow transplant from serologically HLA-A, HLA-B, and HLA-DR matched unrelated donors | Blood | 99 | 4200-4206 | 2002 |

| | | | | | |
|--|---|------------------------------------|---------|-----------|------|
| Ishikawa Y, Kashiwase K, Akaza T, Morishima Y, Inoko H, Sasazuki T, Kodera Y, and Juji T | Polymorphisms in TNFA and TNFR2 affect outcome of unrelated bone marrow transplantation | Bone Marrow Transplant | 29 | 569-575 | 2002 |
| Kato T, Mano S, Ikuta T, Munkhbat B, Tonai K, Ando H, Munkhtuvshin N, Imanishi T, Inoko H and Tamiya G | Genetic isolates in East Asia: A study of linkage disequilibrium in the chromosome | American Journal of Human Genetics | 71 | 395-400 | 2002 |
| Yoshida K, Arai T, Kaburaki J, Ikeda Y, Kawakami Y, and Kuwana M | Restricted T cell receptor β -chain usage by T cells autoreactive to β_2 -glycoprotein I in patients with antiphospholipid syndrome. | Blood | 99(7) | 2499-2504 | 2002 |
| Kuwana M, Okazaki Y, Kaburaki J, Kawakami Y, and Ikeda Y | Spleen is a primary site for activation of platelet-reactive T and B cells in patients with immune thrombocytopenic purpura | J Immunol | 168(7) | 3675-3682 | 2002 |
| Kubo M, Ihn H, Kuwana M, Asano Y, Tamaki T, Yamane K, and Tamaki K | Anti-U5 snRNP antibody as a possible serological marker for scleroderma-polyomyositis overlap | Rheumatology | 41(5) | 531-534 | 2002 |
| Kuwana M, Okazaki Y, Kajihara M, Kaburaki J, Miyazaki H, Kawakami Y, and Ikeda Y | Autoantibody to c-Mpl (thrombopoietin receptor) in systemic lupus erythematosus: relationship to thrombocytopenia with megakaryocytic hypoplasia | Arthritis Rheum | 46(8) | 2148-2159 | 2002 |
| Kuwana M, Kimura K, Hirakata M, Kawakami Y, and Ikeda Y | Differences in anti-Th/To autoantibody response between systemic sclerosis and other autoimmune diseases | Ann Rheum Dis | 61(9) | 842-846 | 2002 |
| Kuwana M, Kimura K, and Kawakami Y | Identification of an immunodominant epitope on RNA polymerase III recognized by systemic sclerosis sera: application to enzyme-linked immunosorbent assay | Arthritis Rheum | 46(10) | 2742-2747 | 2002 |
| Kuwana M | Induction of anergic and regulatory T cells by plasmacytoid dendritic cells and other dendritic cell subsets | Hum Immunol | 63(12) | 1156-1163 | 2002 |
| Kuwana M, Kawakami Y, and Ikeda Y | Suppression of autoreactive T-cell response to glycoprotein IIb/IIIa by blockade of CD40/CD154 interaction: implications for treatment of immune thrombocytopenic purpura | Blood | 101(2) | 621-623 | 2003 |
| 鍋木淳一、桑名正隆、上原理恵、大矢和彦 | 抗フォスファチジルセリン・プロトロンビン複合体抗体(抗プロトロンビン抗体)を測定するELISAキットの開発 | 医学と薬学 | 47(5) | 813-819 | 2002 |
| 桑名正隆 | 検査値から読む病態と診断計画: 抗SS-A/Ro抗体、抗SS-B/La抗体、抗Scl-70(トポイソメラーゼI)抗体 | 臨床医 | 28(増刊号) | 1152-1154 | 2002 |
| 桑名正隆、佐藤伸一、近藤啓文、竹原和彦 | 全身性強皮症患者の評価法 | リウマチ | 42(4) | 654-665 | 2002 |
| 桑名正隆 | 膠原病の病態と自己抗原反応性T細胞 | アレルギー・免疫 | 9(9) | 40-46 | 2002 |
| 桑名正隆 | 血小板減少症と抗リン脂質抗体、抗血小板抗体 | リウマチ科 | 28(4) | 340-347 | 2002 |
| 鍋木淳一、桑名正隆、池田康夫 | 膠原病における血栓症-抗リン脂質抗体症候群における血清中自己抗体の多様性 | 臨床血液 | 43(6) | 454-458 | 2002 |
| 桑名正隆 | - Cutting Edge - 抗リン脂質抗体症候群 | Medical Science Digest | 29(1) | 4-5 | 2003 |
| 桑名正隆 | 関節リウマチにおける滑膜線維芽細胞と治療 | 現代医療 | 35(2) | 129-134 | 2003 |

| | | | | | |
|--|---|--------------------------|----------|-----------|----------|
| 鎌木淳一、桑名正隆、池田康夫 | 抗リン脂質抗体症候群の診断における抗フォスファチジルセリン・プロトロンビン複合体抗体の臨床的意義 | 臨床血液 | 44(1) | 28-30 | 2003 |
| Matsushita N, Okada H, Yasoshima Y, Takahashi K, Kiuchi K, and Kobayashi K | Dynamics of tyrosine hydroxylase promoter activity during midbrain dopaminergic neuron development | J Neurochem | 82 | 295-304 | 2002 |
| Kasiwakura J, Suzuki N, Takeno M, Itoh S, Oku T, Sakane T, Nakajin S, Toyosima S | Evidence of autophosphorylation in Txx:Y91 is autophosphorylation site. | Biol Pharm Bull | 25(6) | 718-721 | 2002 |
| Takeba Y, Nagafuchi H, Takeno M, Kasiwakura J, Suzuki N | Txx, a member of non-receptor tyrosine kinase of Tec family, acts as a Th1 cell specific transcription factor and regulates IFN- γ gene transcription. | J Immunol | 168 | 2365-2370 | 2002 |
| Mihara S, Suzuki N, Takeba Y, Soejima K, Yamamoto Y | Combination of molecular mimicry and aberrant auto antigen expression is important for development of anti-Fas ligand auto antibodies in patients with SLE | Clin Exp Immunol | 129 | 359-369 | 2002 |
| Nagafuchi H, Takeno M, Takeba Y, Miyagi T, Chiba S, Sakane T, Suzuki N | Aberrant expression of Fas ligand on anti-DNA autoantibody secreting B lymphocytes in patients with systemic lupus erythematosus; "immune privilege" like state of the auto reactive B cells | Clin Exp Rheumatol | 20 | 625-631 | 2002 |
| Wakisaka S, Mihara S, Takeba Y, Takeno M, Yamamoto S, and Suzuki N | Aberrant fas ligand expression on lymphocytes in patients with Behcet's disease. | Int Arch Allergy Immunol | 129(2) | 79-84 | 2002 |
| Miyagi T, Takeno M, Nagafuchi H, Takahashi M, and Suzuki N | Flik1 positive cells derived from mouse embryonic stem (ES) cells reconstitutes hematopoiesis in vivo in SCID mice. | Exp Hematol | 30(12) | 1444-1453 | 2002 |
| Nagafuchi H, Shimoyama Y, Kashiwakura J, Takeno M, Sakane T, and Suzuki N | Preferential expression of B7.2 (CD86), but not B7.1 (CD80), on B cells induced by CD40/CD40L interaction is essential for the anti-DNA autoantibody production in patients with systemic lupus erythematosus | Clin Exp Rheumatol | 21 | 71-77 | 2003 |
| Suzuki N, Takeno M, Inaba, G | Bilateral subdural effusion in a patient with neuro-Behcet's disease. | Ann Rheum Dis | | | in press |
| Chiba S, Iwasaki Y, Sekino H, Suzuki N | Motoneuron enriched neural cells derived from mouse ES cells reconstitute neural network to improve motor function of hemiplegic mice, a model of cerebral vascular diseases. | Cell Transplant | | | in press |
| 鈴木登、山本仁、小板橋靖 | 孤発性と考えられる進行性化骨性筋炎の一例. | 炎症・再生 | 22(6) | 555-559 | 2002 |
| 宮城司、千葉俊明、鈴木登 | 再生医学 | 聖マリアンナ医科大学雑誌 | 30 | 121-129 | 2002 |
| 千葉俊明、関野宏明、鈴木登 | レチノイン酸を用いたマウス胚性幹細胞における神経上皮型幹細胞への分化誘導 | 炎症・再生 | 22(6) | 543-549 | 2002 |
| 鈴木登 | リンパ球芽球化試験 | 検査値異常から読む病態と診断計画 臨床医 | 28 巻 増刊号 | 1169-1171 | 2002 |
| 武半優子、岳野光洋、柏倉淳一、鈴木登 | ヒト Th1 細胞特異的 Tec family チロシンリン酸化酵素、Txx の機能解析と各種自己免疫疾患における発現 | 炎症・再生 | 22(5) | 475-479 | 2002 |

| | | | | | |
|---|--|----------------------------|-----------|-----------|------|
| 千葉俊明、鈴木登 | 脳梗塞慢性期における移植治療 | 救急医学 | 26(9) | 1094-1098 | 2002 |
| 本間龍介、鈴木登 | 再生医療 | Health Science | 19(1) | 78-79 | 2002 |
| Kanamori H, Takaishi Y, Takabayashi M, Tanaka M, Yamaji S, Tomita N, Fujimaki K, Fujisawa S, Watanabe S, Matsuzaki M, Ishigatsubo Y | Clinical significance of fragmented red cells after allogeneic bone marrow transplantation | Int J Hematol | 77(2) | 180-184 | 2003 |
| Kaneko T, Ishigatsubo Y | Diagnosis of nocardial infection by microscopic analysis of infected specimens | Intern Med | 41(11) | 915-916 | 2002 |
| Kanamori H, Fujisawa S, Tsuburai T, Yamaji S, Tomita N, Fujimaki K, Miyashita A, Suzuki S, Ishigatsubo Y | Increased exhaled nitric oxide in bronchiolitis obliterans organizing pneumonia after allogeneic bone marrow transplantation | Transplantation | 74(9) | 1356-1358 | 2002 |
| Tsuburai T, Suzuki M, Nagashima Y, Suzuki S, Inoue S, Hasiba T, Ueda A, Ikehara K, Matsuse T, Ishigatsubo Y | Adenovirus-mediated transfer and overexpression of heme oxygen 1 cDNA in lung prevents bleomycin-induced pulmonary fibrosis via a Fas-Fas ligand-independent pathway | Hum Gene Ther | 13(16) | 1945-1960 | 2002 |
| Senuma A, Hagiwara E, Nagahama K, Okuda K, Nakamura M, Fukumoto N, Shirai A, Tani K, Ishigatsubo Y | Therapeutic effect of CpG motifs on the development of chronic graft-versus-host disease in mice | Cytokine | 20(1) | 23-29 | 2002 |
| Yamaji S, Suzuki A, Kanamori H, Mishima W, Takabayashi M, Fujimaki K, Tomita N, Fujisawa S, Ohno S, Ishigatsubo Y | Possible role of ILK-affixin complex in integrin-cytoskeleton linkage during platelet aggregation | Biochem Biophys Res Commun | 297(5) | 1324-1331 | 2002 |
| Sango K, Horie H, Saito H, Ajiki K, Tokashiki A, Takeshita K, Ishigatsubo Y, Kawano H, Ishikawa Y | Diabetes is not a potent inducer of neuronal cell death in mouse sensory ganglia, but it enhances neurite regeneration in vitro | Life Sci | 71(20) | 2351-2368 | 2002 |
| Kanamori H, Tanaka M, Kawaguchi H, Yamaji S, Fujimaki K, Tomita N, Fujisawa S, Ishigatsubo Y | Resolution of psoriasis following allogeneic bone marrow transplantation for chronic myelogenous leukemia: case report and review of the literature | Am J Hematol | 71(1) | 41-44 | 2002 |
| Tomita N, Kodama F, Kanamori H, Motomura S, Ishigatsubo Y | Prophylactic intrathecal methotrexate and hydrocortisone reduces central nervous system recurrence and improves survival in aggressive non-hodgkin lymphoma | Cancer | 95(3) | 576-580 | 2002 |
| Tsuji T, Ohno S, Ishigatsubo Y | Liver manifestations in systemic lupus erythematosus: high incidence of hemophagocytic syndrome | J Rheumatol | 29(7) | 1576-1577 | 2002 |
| Ideguchi H, Ueda A, Tanaka M, Yang J, Tsuji T, Ohno S, Hagiwara E, Aoki A, Ishigatsubo Y | Structural and functional characterization of the USP11 deubiquitinating enzyme, which interacts with the RanGTP-associated protein RanBPM | Biochem J | 367(Pt 1) | 87-95 | 2002 |
| Shinkai M, Suzuki S, Miyashita A, Kobayashi H, Okubo T, Ishigatsubo Y | Analysis of exhaled nitric oxide by the helium bolus method | Chest | 121(6) | 1847-1852 | 2002 |
| Mishima A, Suzuki A, Enaka M, Hirose T, Mizuno K, Ohnishi T, Mohri H, Ishigatsubo Y, Ohno S | Over-expression of PAR-3 suppresses contact-mediated inhibition of cell migration in MDCK cells | Genes Cells | 7(6) | 581-596 | 2002 |

| | | | | | |
|---|---|--------------------------------------|-----------|-------------|------|
| Fujisawa S, Kanamori H, Takabayashi M, Tanaka M, Yamaji S, Tomita N, Fujimaki K, Ishigatsubo Y | Acute lymphoblastic leukemia with t(1;9;22)(q32;q34;q11) | Int J Hematol | 75(4) | 443-445 | 2002 |
| Saito H, Sang K, Horie H, Takeshita K, Ikeda H, Ishigatsubo Y, Ishikawa Y | Trachea enhances neurite regeneration from adult rat nodose ganglia in vitro | Life Sci | 70(16) | 1935-1946 | 2002 |
| Ikehara K, Suzuki M, Tsuburai T, Ishigatsubo Y | Lipoid pneumonia | Lancet | 359(9314) | 1300 | 2002 |
| Fu L, Kaneko T, Ikeda H, Nishiyama H, Suzuki S, Okubo T, Trevisani M, Geppetti P, Ishigatsubo Y | Tachykinins via Tachykinin NK(2) receptor activation mediate ozone-induced increase in the permeability of the tracheal mucosa in guinea-pigs | Br J Pharmacol | 135(5) | 1331-1335 | 2002 |
| Tanaka M, Ueda A, Kanamori H, Ideguchi H, Yang J, Kitajima S, Ishigatsubo Y | Cell-cycle-dependent regulation of human aurora A transcription is mediated by periodic repression of E4TF1 | J Biol Chem | 277(12) | 10719-10726 | 2002 |
| Sakai R, Yamagami S, Inoki T, Tsuru T and Kawashima H | Th1/Th2-balance in anterior chamber-associated immune deviation by alloantigen | Graefe's Arch Clin Exp Ophthalmol | 240 | 154-159 | 2002 |
| Ohkawa T, Yamagami S, Sakai R, Kaku M, and Kawashima H | Effects of anti-T cell receptor monoclonal antibody R73 on the induction of experimental autoimmune uveoretinitis in rats | Jpn J Ophthalmol | 41 | 518-524 | 2002 |
| Kunimatsu S, Fujino Y, Nagata Y, Ono K, Mochizuki M, Numaga J, Kawashima H, Araie M | Ultrasound biomicroscopic study of sclerotomy sites after implantation of sustained release drug devices | Br J Ophthalmol | 86 | 869-871 | 2002 |
| Sakai R, Yamagami S, Inoki T, Tsuru T, and Kawashima H | Th1/Th2-balance in anterior chamber-associated immune deviation by alloantigen | Graefe's Arch Clin Exp Ophthalmol | 240 | 154-159 | 2002 |
| 佐藤伸平、蕪城俊克、川島秀俊、沼賀二郎、渋井洋文、吉田淳、本山祐大、秋山和英、藤野雄次郎 | ベーチェット病に対するシクロスポリンMEPC製剤の臨床成績 | 平成13年度厚生省特定疾患ベーチェット病調査研究班 平成13年度研究業績 | | | 2002 |
| 蕪城俊克、吉田淳、成見正作、沼賀二郎、川島秀俊、藤野雄次郎 | ベーチェット病におけるT細胞遊走性ケモカインの関与 | 平成13年度厚生省特定疾患ベーチェット病調査研究班 平成13年度研究業績 | | | 2002 |
| 稲用和也、渋井洋文、蕪城俊克、川島秀俊、沼賀二郎、藤野雄次郎 | ベーチェット病眼症に対する硝子体手術治療 | 平成13年度厚生省特定疾患ベーチェット病調査研究班 平成13年度研究業績 | | | 2002 |
| 田井綾子、鈴木健司、中込一之、小宮明子、黛康夫、飯倉元保、田中良一、山口正雄、土肥眞、三崎義堅、山本一彦、川島秀俊 | 多関節炎と血液検査上強い炎症所見を伴ったサルコイドーシスの一例 | 日本サルコイドーシス学会 | 22 | 37-40 | 2002 |
| 川島秀俊 | モノクローナル抗体療法へぶどう膜炎 | 日本臨床 | 60 | 556-562 | 2002 |
| 川島秀俊 | ぶどう膜炎 | | | 348-349 | 2002 |
| 川島秀俊 | 赤ちゃんの病気&ホームケア事典、第13章.体の部位の異常一目 | ひよこクラブ12月号 | | 79-84 | 2002 |
| 川島秀俊 | 21世紀のぶどう膜炎ー動向と対策* 同定不能症例の動向 | 眼科紀要 | 53 | 8-9 | 2002 |
| 川島秀俊 | One Point Adviceー糖尿病虹彩炎 | 内科総合誌Medical Practice | 19 | 2108. | 2002 |

| | | | | | |
|--|--|--|-------|---------|----------|
| Mizuki N, Ota M, Katsuyama Y, Yabuki K, Ando H, Shiina T, Palimeris GD, Kaklamani E, Ohno S, Inoko H | Sequenced-based typing of HLA-B*51 alleles and the significant association of HLA-B*5101 and -B*5108 with Behcet's disease in Greek patients | Tissue Antigens | 59(2) | 118-121 | 2002 |
| Mizuki N, Yabuki K, Ota M, Katsuyama Y, Ando H, Nomura E, Funakoshi K, Davatchi F, Chams H, Nikbin B, Ghaderi AA, Ohno S, Inoko H | Analysis of microsatellite polymorphism around the HLA-B locus in Iranian patients with Behcet's disease | Tissue Antigens | 60(5) | 396-399 | 2002 |
| 水木信久, 大野重昭, 猪子英俊 | ベーチェット病の分子遺伝学 | 日本の眼科 | 74 | 361-364 | 2003 |
| 西田朋美, 水木信久, 大野重昭 | ベーチェット病の病態 | 日本の眼科 | 74 | 19-22 | 2003 |
| Nomura E, Sato M, Suemizu H, Watanabe T, Kimura T, Yabuki K, Goto K, Ito N, Mizuki N, Ohno S, Kimura M | Hyperkaratosis and leukocytosis in transgenic mice carrying MHC class I related gene B (MICB) | Tissue Antigens | | | in press |
| Mizoguchi K, Okada E, Saitou H, Oishi A, Tobimatsu A, Okuda K, Mizuki N | Discoloration of soft contact lenses caused by eyeliners | CLAO J | | | in press |
| Nazira M, Inoue K, Fujinaga Y, Hughes L, Arimitsu H, Sakaguchi Y, Ohtsuka A, Murakami T, Yokota K, Oguma K | Characterization of monoclonal antibodies against haemagglutinin associated with Clostridium botulinum type C neurotoxin | J Med Microbiol | 51 | 286-294 | 2002 |
| Sagane Y, Watanabe T, Kouguchi H, Sunagawa H, Obata S, Oguma K and Ohyama T | Spontaneous nicking in the nontoxic-nonhemagglutinin component of the Clostridium botulinum toxin complex | Biochem Biophys Res Communi | 292 | 434-440 | 2002 |
| Adachi M, Mizuno M, Yokota K, Miyoshi M, Nagahara Y, Maga T, Ishiki K, Inaba T, Okada H, Oguma K and Tsuji T | Reinfection rate following effective therapy against Helicobacter pylori infection in Japan | Journal of Gastroenterology and Hepatology | 17 | 27-31 | 2002 |
| Nagahara Y, Mizuno M, Maga T, Ishiki K, Okuno T, Yoshida T, Yokota K, Oguma K, Okada H and Tsuji T | Outcome of patients with inconsistent results from 13C-urea breath test and bacterial culture at the of assessment of Helicobacter pylori eradication therapy in Japan | Hepato-Gastroenterol | | | in press |
| Nazira M, Inoue K, Fujinaga Y, Arimitsu H, Sakaguchi Y, Hughes L, Hirst R, Murphy T, Tsuji T, Watanabe T, Ohyama T, Karasawa T, Nakamura S, Yokota K and Oguma K | Mucosal immunisation with Clostridium botulinum type C 16S toxoid and its non-toxic component | J Med Microbiol | 51 | 813-820 | 2002 |
| Jin H S, Yoshino T, Jin Z, Oka T, Kobayashi K, Yamasaki R, Liu Y X, Yokota K, Oguma K and Akagi T | Expression of heat shock protein 60 in normal and neoplastic human lymphoid tissues | J Clin Exp Hematopathol | 1 | 25-32 | 2002 |
| Miyoshi M, Mizuno M, Ishiki K, Nagahara Y, Maga T, Torigoe T, Nasu J, Okada H, Yokota K, Oguma K and Tsuji T | A randomized open trial for comparison of proton pump inhibitors, omeprazole versus rabeprazole, in dual therapy for Helicobacter pylori infection in relation to CYP2C19 genetic polymorphism | Journal of Gastroenterology and Hepatology | 16 | 723-728 | 2002 |

| | | | | | |
|---|--|--|-----|-----------|------|
| Inaba T, Mizuno M, Kawai K, Yokota K, Oguma K, Miyoshi M, Take S, Okada H and Tsujii T | Helicobacter pylori infection: cyp2c19 genotype and serum ferritin | Journal of Gastroenterology and Hepatology | 17 | 748-753 | 2002 |
| Mahmut N, Inoue K, Fujinaga Y, Huges L, Arimitsu H, Sakaguchi Y, Ohtsuka A, Murakami T, Yokota K, Oguma K | Characterization of monoclonal antibodies against haemagglutinin associated with Clostridium botulinum type C neurotoxin | J Med Microbiol | 51 | 1-9 | 2002 |
| 岩月啓氏 | 菌状息肉症 | 医薬の門 | 42 | 238-239 | 2002 |
| 岩月啓氏 | SAPHO症候群:無菌性膿疱症と炎症性腸疾患と骨関節症の病因的関連について | 皮膚科の臨床 | 44 | 421-427 | 2002 |
| 岩月啓氏 | 皮膚リンパ腫の新しい分類(前編)-末梢T/NK細胞リンパ腫- | 西日本皮膚科 | 64 | 327-336 | 2002 |
| 岩月啓氏 | 皮膚リンパ腫の新しい分類(後編)-B細胞リンパ腫と関連疾患- | 西日本皮膚科 | 64 | 469-476 | 2002 |
| 岩月啓氏 | EBウイルス感染症と皮膚疾患 | 日本臨床皮膚科医学会雑誌 | 73 | 161-165 | 2002 |
| 岩月啓氏 | 皮膚悪性リンパ腫とEBウイルス | Bio Clinica | 17 | 1085-1089 | 2002 |
| 秋山尚範, 岩月啓氏 | 感染性(I)細菌性 | MB Derma | 66 | 16-22 | 2002 |
| 秋山尚範, 山崎 修, 大野貴司, 岩月啓氏 | キノロン系抗菌薬の臨床的評価-経口用キノロン薬gatifloxacin皮膚科領域- | 臨床と微生物 | 29 | 623-627 | 2002 |
| 岩月啓氏 | EBウイルスと発癌 臨床的アプローチ | 日本皮膚科学会雑誌 | 112 | 1760-1762 | 2002 |
| 山崎 修, 秋山尚範, 大野貴司, 岩月啓氏 | 非A群レンサ球菌および類縁菌による皮膚感染症の臨床的検討 | 日本皮膚科学会雑誌 | 112 | 23-28 | 2002 |
| 山崎 修, 秋山尚範, 大野貴司, 岩月啓氏 | 黄色ブドウ球菌のバイオフィルムに対する白糖・ポビドンヨード配合軟膏(ユーパスタ®)の効果 | Ther Res | 23 | 1619-1622 | 2002 |
| 佐藤正隆, 秋葉 均, 尾山徳孝, 岩月啓氏, 金子史男 | CpG oligodeoxynucleotides (ODN)によるマウスの2, 4-dinitrofluorobenzene (DNFB)に対するアレルギー性接触皮膚炎増悪化のメカニズムについての検討 | 福島医学雑誌 | 52 | 238-250 | 2002 |
| 山崎 修, 秋山尚範, 大野貴司, 岩月啓氏 | 黄色ブドウ球菌のバイオフィルムに対するロキシシロマイシンの効果 | 皮膚の科学 | 1 | 1-7 | 2002 |
| 浅越健治, 山崎 修, 牧野英一, 佐藤修平, 平木祥夫, 岩月啓氏 | Sentinel node biopsyを施行した悪性黒色腫10例の検討 | 日本皮膚科学会雑誌 | 112 | 1807-1815 | 2002 |
| Tojo M, Kiyosawa H, Iwatsuki K, Kaneko F | Expression of a sonic hedgehog signal transducer, hip(hedgehog-interacting protein), by human basal cell carcinoma | Br J Dermatol | 146 | 69-73 | 2002 |
| Akiyama H, Huh W-K, Fujii K, Yamasaki O, Oono T and Iwatsuki K | Confocal laser microscopic observation of glycocalyx production by <i>Staphylococcus aureus</i> in vitro | J Dermatol Sci | 29 | 54-61 | 2002 |
| Oono T, Shirafuji Y, Huh W-K, Akiyama H, Iwatsuki K | Effects of human neutrophil peptide-1 on the expression of interstitial collagenase and type I collagen in human dermal fibroblasts | Arch Dermatol Res | 294 | 185-189 | 2002 |
| Akiyama H, Oono T, Huh W.-K, Yamasaki O, Ogawa S, Katuyama M, Ichikawa H and Iwatsuki K | Actions of farnesol and xylitol against <i>Staphylococcus aureus</i> | Chemotherapy | 48 | 122-128 | 2002 |
| Oyama N, Takahashi H, Tojo M, Iwatsuki K, Iizuka H, Nakamura K, Homma Y and Kaneko F | Different properties of three isoforms (alpha, beta, and gamma) of transcription factor AP-2 in the expression of human keratinocyte genes | Arch Dermatol Res | 294 | 273-280 | 2002 |

| | | | | | |
|--|---|---------------------|--------|---------|------|
| Akiyama H, Oono T, Huh W.-K, Yamasaki O, Akagi Y, Uemura H, Yamada T and Iwatsuki K | Actions of gluco-oligosaccharide against <i>Staphylococcus aureus</i> | J Dermatol | 29 | 580-586 | 2002 |
| Huh W-K, Oono T, Shirafuji Y, Akiyama H, Arata J, Sakaguchi M, Huh N-h and Iwatsuki K | Dynamic alteration of human beta-defensin 2 localization from cytoplasm to intercellular space in psoriatic skin | J Mol Med | 80 | 678-684 | 2002 |
| 貴志知生, 山本有紀, 上出康二, 古川福実, 中峯寛和, 岩月啓氏 | Blastic NK cell lymphomaの1例 | 皮膚の科学 | 1 | 123-126 | 2002 |
| 柳堀浩克, 鯉淵一葉, 高根沢まるみ, 紺野嘉宜, 川上佳夫, 佐久間陽子, 尾山徳孝, 大塚幹夫, 金子史男, 岩月啓氏, 富永邦彦 | 腎病変を認めたintravascular large B-cell lymphomaの1例 | 皮膚のリンフォーマ | XXI | 26-29 | 2002 |
| 浅越健治, 山崎 修, 牧野英一, 岩月啓氏, 荒田次郎 | 右母指爪部悪性黒色腫:第1背側中手動脈皮弁による再建 | Skin Cancer | 17 | 26-30 | 2002 |
| 松浦浩徳, 内田治仁, 岩月啓氏 | 皮膚筋炎様皮疹を呈した尋常性乾癬 | Visual Dermatology | 1 | 528-529 | 2002 |
| 田中 了, 浅越健治, 牧野英一, 山崎 修, 岩月啓氏, 荒田次郎 | 最近経験した女性外陰部パジェット病5例の検討 | 日本皮膚外科学会誌 | 6 | 78-79 | 2002 |
| 山崎 修, 浅越健治, 牧野英一, 岩月啓氏, 佐藤修平, 平木祥夫 | フチン酸によりSentinel Nodeを同定した足趾原発皮膚悪性腫瘍の2例 | 西日本皮膚科 | 64 | 439-442 | 2002 |
| Tojo M, Iwatsuki K, Furukawa H, Takahashi M and Kaneko F | Neutrophilic eccrine hidradenitis in actinic reticuloid syndrome | Eur J Dermaol | 12 | 198-200 | 2002 |
| Fujimoto W, Kanehiro A, Kuwamoto-Hara K, Saitoh M, Nakakita T, Amagai M, Arata J and Iwatsuki K | Paraneoplastic pemphigus associated with Castleman's disease and asymptomatic bronchiolitis obliterans | Eur J Dermaol | 12 | 355-359 | 2002 |
| Satoh M, Oyama N, Akiba H, Ohtsuka M, Iwatsuki K, Kaneko F | Hypersensitivity to mosquito bites with natural-killer cell lymphocytosis : the possible implication of Epstein-Barr virus reactivation | Eur J Dermaol | 12 | 381-384 | 2002 |
| Kuyama M, Fujimoto W, Kambara H, Egusa M, Saitoh M, Yamasaki O, Maehara K, Ohara A, Arata J and Iwatsuki K | Amicrobial pustular dermaotits in two patients with immunological abnormalities | Clin Exper Dermatol | 27 | 286-289 | 2002 |
| Iwatsuki K, Xu Z-G, Ohtsuka M, Yamamoto T, Fujii K, and Tsuji K | Photosensitivity in hydroa vacciniforme is a photo-Koebner phenomenon induced by infiltration of Epstein-Barr virus-infected NK/T cells | J Photosci | 9 | 233-235 | 2002 |
| Iwatsuki K, Ohtsuka M, Matsui T, Yamamoto T, Fujii K, Yamasaki O and Tsuji K | Erythrodermic actinic reticuloid is characterized by the overspill of oligoclonal CD8+ lymphocytes responsive to ultraviolet irradiation | J Photosci | 9 | 491-493 | 2002 |
| Nagaoka Y, Nakamura K, Yasaka N, Watanabe T, Asahina A, Tamaki K | Identification and Characterization of the Low-Affinity Receptor for Immunoglobulin E (FcepsilonRII/CD23) on Murine Langerhans Cells | J Invest Dermatol | 119(1) | 130-136 | 2002 |
| Yano S, Nakamura K, Okochi H, Tamaki K | Analysis of the expression of cutaneous lymphocyte-associated antigen on the peripheral blood and cutaneous lymphocytes of alopecia areata patients | Acta Derm Venereol | 82(2) | 82-85 | 2002 |